

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	HTLV-1 陽性献血者におけるプロウイルス DNA の解析 (現行検査法における HTLV-1 感染者の検出状況の調査及び HTLV-1 陽性献血者におけるプロウイルスの解析)
研究期間 (西暦)	2020 年 4 月～2022 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所
研究責任者職氏名	感染症解析部 主査 蕎麦田 理英子

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) は、血液中の白血球のひとつであるリンパ球に感染するウイルスであり、現在、日本に約 108 万人の感染者がいるといわれています。日本は先進国の中で唯一の HTLV-1 流行国であり、特に九州・沖縄地方を含む南西日本に感染者が多く見られます。HTLV-1 に感染していても約 95% の方は生涯病気になることはありませんが、一部の方は成人 T 細胞性白血病や HTLV-1 関連脊髄症などを発症する場合があります。

日本赤十字社では、献血血液に対する HTLV-1 抗体検査を行っていますが、確認検査を行っても現在の検査方法では判定保留となる (感染しているかどうかわからない) 場合があります。そのような場合には、末梢血白血球由来のヒトゲノム DNA に組み込まれた HTLV-1 ウイルス DNA (プロウイルス DNA) を特異的に検出する核酸検査 (PCR 法) が行われます。このような抗体検査で検出されにくい事例について、プロウイルス DNA を詳細に解析してデータを蓄積することは、今後の検査試薬の改良等に役立つと思われます。また、HTLV-1 陽性献血者におけるプロウイルス DNA を詳細に解析することは、国内で流行している HTLV-1 の疫学的な動向を把握することにつながり、今後の HTLV-1 の総合的な感染対策に資するものと思われます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液の種類：2020 年 10 月から 2021 年 3 月までに採血された献血血液のうち、HTLV-1 抗体検査で陽性となったもの。(検査残余検体；全血または血餅及び血清)

献血血液の情報：HTLV-1 関連検査結果 (検査履歴を含む)、年齢、性別、採血地。

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

国立感染症研究所 倉光 球

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

研究方法：HTLV-1 抗体陽性検体について、PCR 法によるプロウイルス DNA の検出を行い、主に抗体検査で検出されにくい事例についてプロウイルス DNA 塩基配列を決定し、特徴的な変異の有無について調査します。また、HTLV-1 は複数のタイプに分けられるため (サブタイプ)、同様の方法で得られた HTLV-1 陽性献血者のプロウイルス DNA の情報から、国内に流行する HTLV-1 サブタイプの分布等を調査します。

5 献血血液等の使用への拒否について

本研究の対象者に該当する可能性のある方は使用の差し止めや情報の開示等を請求することができます。

6 上記5を受け付ける方法

下記の問い合わせ先にご連絡ください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所
担当者	蕎麦田 理英子
電話	03-5534-7522
Mail	kansen-g@jrc.or.jp